

歩いた、見た、感じた

中央アジア

WV9期 森 正昭

歩いたこと

- 通常だと簡単に行けない地域だし、旧ソ連邦時代の遺産が見聞でき大変面白かった。
- 荒野を貫く一本道、ユーラシアを歩く旅の代表的な姿。

見たこと（人との出会いや体験）

- トルクメニスタン／アシガバット；見せるために作られた箱庭のような街とその外の世界の対比、独裁者はどんな国造りを考えていたのか？
- ウズベキスタン／サマルカンド；まさにシルクロードの中心の街、ブハラ；世界遺産の街にふさわしい雰囲気
- カザフスタン／タラズ；大草原の広がる高原地帯、馬が身近な国

感じたこと

- トルクメニスタン; 豊かな資源を売ったお金はどこに使われたのか、国の将来は？
- 旧ソ連時代の計画経済の残した物; 天山山脈からの豊富な水で綿花栽培、取れた綿花はロシアへ→ステップ地帯だったので塩害発生、アラル海の消滅、産業が育たない
- 農業や牧畜が中心の経済、工場群は廃墟ばかり。
- ウズベキ人は写真好き





